

広報

おおく

2017

12

No.155



Japanese Culture

がんばる大洲っ子

未来に残したい伝統をこれからも

栗津小学校 6 年
山 本 真 生 さん



私は今、和太鼓と百人一首を頑張っています。歴史に興味があり、ともに4年生のときに始めました。和太鼓は、栗津小学校和太鼓クラブの祇園太鼓のことです。栗津ふるさとまつりや学芸会での発表会に向け児童15人で活動しています。和太鼓の演奏は難しく苦勞しましたが、みんなと一緒に演奏できたときは、とてもうれしかったです。私は6年生なので、今年でクラブ活動は終わりますが、大人になっても栗津祇園太鼓の活動は続けたいです。

百人一首は、大洲市内外で週に3回ほど活動しています。最近の大会では、6年生の部、階級別とともに優勝することができました。今の目標は全国大会に出場することです。前回の四国大会では、悔しい思いをしました。この悔しさを忘れず、これからも練習に取り組みたいと思います。

12月の納税など

納期限は12月25日(月)です。

税 別	12月	1 月	2 月	3 月
市 県 民 税	4 期		5 期	
固 定 資 産 税		5 期		
軽 自 動 車 税				
国 民 健 康 保 険 税	6 期	7 期	8 期	9 期

市税などの納付は、便利で安心な「口座振替」を。

現在の大洲

人の動き(先月比)

人口	44,357人 (- 22)
男	21,194人 (- 18)
女	23,163人 (- 4)
世帯数	20,133世帯(- 5)

交通事故(去年同期)

件数	89件(132件)
死者	3人(2人)
負傷者	116人(169人)

(2017年10月末現在)

CONTENTS 目次

2 ページ	がんばる大洲っ子・今月の表紙
3 ページ～	(特集1)大洲城跡を後世に伝えていくために
6 ページ～	(特集2)愛顔つなぐえひめ国体
10ページ～	おおずニュース
12ページ～	シリーズ
13ページ～	おしらせピックアップ
22ページ～	情報ひろば
24ページ	集まれO級若モン
25ページ～	図書館・保健センター・各種相談ガイド
28ページ	がんばるひと (大洲市食生活改善推進協議会)

今月の表紙



11月3日(金)、肱南地区で、おおず浪漫祭が行われました。メインイベントのレトロウェディングでは、和装した2組の夫婦が、人力車で古い町並みを移動し、ポコペン横丁にて式を挙げました。日本ならではの文化を感じる式となりました。

写真は、新郎フランス、新婦フィリピンの国際結婚です。

(特集1) 大洲城跡を後世に伝えていくために

～未来へ繋げる城山公園植栽整備計画～



大洲城跡本丸のケヤキ（伐採前）

城山公園は、石垣や曲輪^{くまわ}など、かつての形態を色濃く残した城郭^{じょうかく}として、その一部が愛媛県の史跡に指定されている貴重な文化遺産です。天守閣の復元以降、その文化遺産としての価値を一層高めています。一方で、広く市民のみなさんから親しまれる身近な公園や憩いの場であるとともに、大勢の観光客が訪れる観光地にもなっています。

市では、このような貴重な文化遺産をより良い形で後世に残していくため、その整備の一環として植栽整備を進めています。

城山公園植栽整備計画とは

城山公園では、これまで数多くの樹木が植栽されてきました。しかし、樹木の成長具合、植樹の場所・種類などを考慮したものではなかったために、現在では成長した樹木がさまざまな問題を引き起こしています。

市では計画的に城山公園内の樹木の伐採および植栽の整備を行うため、平成25年度に「城山公園植栽整備計画」を策定しました（この計画は、市公式ホームページに掲載しています）。

この計画では、「大洲城の存在感を高め、歴史文化の薫り高い雰囲気をつくり、緑との共生を図っていくこと」を基本理念に、利用機能に沿って4つのゾーン別に次のとおり整備方針を設定しています。

①「歴史的環境整備ゾーン」

大洲城が主に活躍した近世当時の雰囲気を感じさせる植栽整備・管理を行います。

②「自然環境保全ゾーン」

現況の植生保全を基本とし、この地域の気候風土に適合した在来種を用います。

③「郷土学習・花木鑑賞ゾーン」

広い空間特性を生かして地域

のイベントの開催、花木鑑賞ができる場として整備を行います。

④「交流と憩いの創出ゾーン」

市民などが、憩いの場・交流の場として利用できるよう、広場や植栽の整備を行います。

この計画のなかで、石垣への影響を及ぼす樹木や樹勢の衰えた樹木、また、景観を阻害している樹

木については更新を行うこととしていきます。その中で、本丸のケヤキ3本については、石垣への影響や、城跡にふさわしくない樹木であることから、伐採すべき樹木として位置付けられ、平成29年2月に、大洲城の石垣に大きな影響を与えているケヤキ（川側の1本）を含む9本の樹木を伐採しました。



城山公園の植栽整備方針ゾーニング図（「城山公園植栽整備計画」を一部改変）



発掘調査で検出されたケヤキの根

本丸のケヤキについて

現在のケヤキがある場所は、江戸時代には本丸を囲む多聞櫓^{たもんぐら}が建てられていました。明治時代になると、大洲城は廃城となり多聞櫓は取り壊されます。その後、公園化が進められていきますが、等間隔に並ぶケヤキもこの公園整備の一環で植えられたと考えられます。実際に伐採されたケヤキの年輪を数えると樹齢は110年前後であり、明治末〜大正初期頃に植えられたものであることがわかります。



石垣側へ伸びたケヤキの根

根が及ぼす影響について

大洲市教育委員会では、ケヤキの根が城跡に与える影響を確認するために、切株周囲の発掘調査を行いました。

調査の結果、大小無数の根が四方八方に延びていましたが、石垣側には、直径約10〜20センチの少なくとも3本の太い根が、石垣に向かって伸びていることが明らかになりました。以前から、このケヤキ前面の石垣では一部に膨らみが見られ、根の影響によるもの予想されていましたが、今回の調査によって、あらためてその影響を確認することができたといえます。

また、今回の調査では、江戸時代の地面が現在の地表面から約20センチ下にあることや、その下部には本丸が造られた江戸時代以前の盛土とみられる地層があることなども確認できました。しかし、これらもケヤキの根によって一部が大きく破壊されていることが明らかになりました。

他の城跡でも同様の事例が

このように、植物が城跡に影響を及ぼした事例は、他の城跡でも確認されています。

宇和島城跡では、石垣上面にあつたクス（幹周約2メートル、樹高約15メートル）の根によって石垣が崩落しています。崩落の直前に地震や大雨などの自然要因はなかったことから、大きく成長したクスの根の伸長が崩落の要因になったと考えられています。ちなみに、根の伸びる力は1平方メートル当たり約10キログラムもあるといわれています。

また、今治市の能島城跡では、植物の根が地下遺構を破壊した例なども確認されています。ここではソメイヨシノの根が遺構を破壊して、地下に埋納された土師器皿や銭貨をバラバラにしていました。



根によって石垣が崩落した例（宇和島城跡）

大洲城跡を守り伝えていくために

本丸のケヤキは、大洲城の景観を阻害しているだけでなく、石垣に近接していることから、根が石垣を押し出し崩壊させる可能性や、地震や強風により木が揺すられて石垣を崩壊させる可能性があります。石垣が崩壊すると、文化財としての城跡が破壊されるといっただけでなく、周辺地域にも甚大な被害を及ぼす危険性もあります。

そのためにも、石垣への影響がこれ以上進行しないようケヤキを伐採する必要があり、平成30年2月頃には、残り2本のケヤキを伐採する予定です。

しかし、樹木を伐採するだけでなく、適切な場所には適切な樹木を植えていくという整備が必要です。今後、市では「城山公園植栽整備計画」に基づき、大洲城跡全体で樹木の更新を図っていくための植栽整備を進めます。

現在、植栽整備を進めているなかで、①「ケヤキを移植すればいい」、②「根が石垣に影響を及ぼすのなら、石垣側の根を切ればいい」、③「風雨の影響を受けないように枝を大きく剪定すればいい」といったご意見が寄せられています。これらのご意見については、愛媛大学名誉教授などの専門家から助言をいただき、次のように判断しています。

①について、これだけの大木を運び出すのは現実的に難しく、仮に移植しても根付かない可能性が大いと考えられます。

②について、石垣側の根のみを切ると、樹全体のバランスが崩れ逆に不安定になると考えられます。さらに、根を切るためには周囲を掘削していく必要があります。しかし、石垣の裏側には多量の河原石が詰められていて、石垣

自体をも崩落させる危険性があるため、これ以上深く掘り下げることはできません。そのため石垣に影響を及ぼす全ての根を切ることは困難です。

③について、枝を大きく剪定しても根は成長し続けます。そのため今後も石垣や地下遺構に影響を及ぼし続けると考えられます。

大洲城跡のある城山公園は、周辺に残る旧城下町の歴史的な町並みとともに、この地域を今に伝える重要な文化遺産です。そして、先人が構築し、現代にのこしてくれた「城山公園」は、私たちにとって大切な財産です。

大洲城跡をより良い文化遺産として次世代へ引き継いでいくために、市民のみなさんには、慣れ親しんだ大洲城本丸のケヤキの伐採にご理解いただきますようお願いします。

【問い合わせ先】

都市整備課 都市計画係

☎24 1719

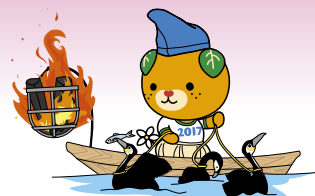
文化スポーツ課 文化振興係

☎57 9993



えがお

愛顔つなぐえひめ国体



愛媛県を舞台に開催された第72回国民体育大会「愛顔つなぐえひめ国体」、大洲市では3競技を開催し、連日熱戦が繰り広げられました。たくさんの方がさまざまな形で「おもてなし」をし、訪れたみなさんをあたたかくお迎えすることができました。会場の熱気をお伝えします。

カヌースプリント競技 10/1~4

鹿野川湖特設カヌー競技場



200m 7位入賞の愛媛県信尾光里選手
(少年女子カヤックシングル 大洲高)



200m 2位、500m 4位入賞の愛媛県小松正治選手
(成年男子カヤックシングル)



500m 4位、200m 5位入賞の愛媛県多田羅英花選手
(成年女子カヤックシングル)



200m 5位、500m 6位入賞の愛媛県杉井太一選手、末光聖選手、
吉田武選手、土居颯選手 (少年男子カヤックフォア 大洲高)



カヌースプリント競技に出場したみなさん。地元大洲高等学校からは、13人の選手が出場しました。

ソフトボール競技 10/1、2

八幡浜・大洲地区運動公園野球場



来年は、福井しあわせ元気国体。



福井県応援団のみなさん。



雨の中、勝利に歓喜する栃木県チーム。



愛媛県谷本祥太選手(大洲市出身)のホームラン。
(10/3 八幡浜市民スポーツパーク)



2日目の雨天順延により、準決勝に勝利した
愛媛県と栃木県が優勝しました。

ソフトテニス競技 10/6、7

八幡浜・大洲地区運動公園テニスコート



新潟県と対戦する愛媛県青木、奥嶋ペアの力強いボレー。



広島県と対戦する愛媛県奥嶋選手のサーブ。



6日は雨にもかかわらず、スタンドは多くの観覧者のみなさんの熱気にあふれていました。



開始式では、大洲市出身のフリースタイルフットボーラー徳田耕太郎さんが演技を披露し選手のみなさんを歓迎しました。



おもてなし広場も大いににぎわいました。

ご声援・ご協力ありがとうございました ～会場から～



ダム工事用構台上から観覧するみなさん。



応援団を結成し、声援を送る学校観戦。



コート周りからはたくさんの歓声が。



肱川中央自治会のみなさんが制作した 2m 程度の特大花紙アート。



多くのボランティアのみなさんの協力がありました。



愛媛県選手もドリンクコーナーで一息。



無料ふるまいはあっという間になくなりました。



競技補助員の高校生も大活躍です。



選手やチーム関係者の方を笑顔で見送る高校生ボランティアのみなさん。



小中学生をはじめ、多くのみなさんが作ったのぼり旗や花で会場は華やかに飾られました。